

ナンバリング	B①10	科目名	特別支援保育Ⅰ
担当形態	単独	担当教員	久保 瑤子
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③, ④		
テキスト	太田俊己編著 青鞆社 2021 年 「子どもと社会の未来を拓く障害児保育ーインクルーシブな保育に向けて」		
開講時期	後期	単位数・ 授業形態	1 単位・講義
到達目標	・自分の障害観を見つめ直すと同時に、「障害」とは何かを自分なりに説明できる。 ・障害のある子ども(人)の特性ではなく、「内面」に目を向けて考察することができる。 ・身近な存在として、障害のある子ども(人)にもっと関わってみたい、もっと知りたいと興味・関心をもつ。		
授業の概要	「障害のある子ども(人)」との関わり方に漠然と大きな不安を感じている人も多いと思います。この授業では、まず自分の「障害観」を振り返るところから始めます。次に、様々な障害のある子ども(人)の内面世界を、映像や疑似体験を通して丁寧に理解していきます。「障害」とは何なのか、また障害のある子ども(人)と関わる上で保育者としてどのようなことを大切にしたいのかを自分なりに考えながら、柔軟な視点を持って参加してください。		
授業計画	第 1 回 オリエンテーション、自分の「障害観」を振り返る 第 2 回 「障害」とは何か、特別支援保育の現状 第 3 回 肢体不自由児の理解と支援 第 4 回 視覚障害・聴覚障害児の理解と支援 第 5 回 知的障害児の理解と支援 第 6 回 発達障害(ASD)児の理解と支援① 第 7 回 発達障害(ASD)児の理解と支援② 第 8 回 発達障害(ADHD)児の理解と支援③ 第 9 回 発達障害(ADHD)児の理解と支援④ 第 10 回 重症心身障害・医療的ケア児の理解と支援 第 11 回 その他の特別な支援を要する子どもの理解と支援 第 12 回 インクルーシブ保育が目指すもの 第 13 回 合理的配慮とは、今までの保育を見つめ直す 第 14 回 期末試験と解説(総まとめ) 第 15 回 障害観の変化を振り返る(グループワーク)		
準備学習と必要時間	毎週 60 分以上は、授業に関連する事例を調べたり、テレビや書籍を読んだりする習慣を身に付けてください。		
評価方法	・コメントペーパーの内容と授業での取り組みー 30%		

	・期末試験－ 70%				
参考文献	鯨岡峻編「最新保育講座 障害児保育」(第2版)ミネルヴァ書房 2013年				
特記事項	・講義中心ですが、議論やワーク等を行うこともあるため、授業への積極的な参加を期待します。 ・単位を修得できない場合、特別支援保育Ⅱは履修できません。				
課題へのフィードバック方法	・試験後、模範解答を提示して解説を行います。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	教育の基礎的理解に関する科目
	その他		保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する
実務経験のある教員等による授業内容					